



## 令和7年度豊浜中学校区小中一貫教育研究テーマ

### 主体的・対話的に深く学び，思いを表現する児童生徒の育成 ～全ての子どもが「分かる・できる」ための工夫の充実～



### 小中一貫合同授業研究会

10月10日(金)  
豊浜中学校にて

10月10日(金)豊浜中学校にて、8年生を対象に丹下先生、河村先生、北谷龍樹さん(ゲストティーチャー)による総合的な学習の時間の合同授業研究を行いました。

8年生は、『働く』を通して、自分にとって幸せな生き方は何だろうか?というテーマで1年間学習をしてきました。そのために、自分に合った職業を調べてみたり、地域で働く先輩方に『働く』ということについて話を聞いたり、職場体験を経験する中で幸せな生き方について考えてきました。そのまとめとして、合同授業研究会では「幸せな生き方を作るために、何を大切にしたら良いか。」をゲストティーチャーのお話を聞きながら職業観や勤労観について自分なりの意見をもつことができるようになりました。



事後協議会では、小中の教員で協議を行いました。児童生徒が「自ら主体的に学んでいくこと」や「すべての生徒が分かる・できるための工夫」の大切さを教職員全員が再認識することができました。



最後に呉市教育委員会の本谷彰弘主査様から生徒がワクワクする単元の構想の仕方についてご指導をいただき、有意義な協議会となりました。

職場体験活動や、職場体験の事前事後学習に協力していただいた地域の皆様、本当にありがとうございました。

11月25日(火) 豊小学校にて

11月25日(火)豊小学校の1・2年生複式学級で、生活科の合同授業研究会を行いました。この授業研究会には、ゆたか保育所から日浦所長様にもご参加いただきました。

「うごく うごく わたしのおもちゃ」の単元では、身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、よりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるような遊び方やルールを変えたりなどの工夫をし、遊びの面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとすることができるとを目標に、学習活動を展開してきました。

この日の授業では、つくったおもちゃでお互いに遊んでみることを通して、アドバイスを友達に伝えたり、より楽しく動くおもちゃに改良したりする活動を行いました。試行錯誤や交流を通して学びを深める児童の姿が見られました。



事後協議会では、グループ協議を行い、全体で共有するとともに、呉市教育委員会の厚谷菜由子指導主事様からご指導をいただきました。幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けたご示唆もいただき、大変有意義な協議会となりました。

12月15日に、1・2年生は、完成したおもちゃを持ってゆたか保育所を訪問し、交流活動を行いました。1・2年生は、自分たちがつくったおもちゃで楽しく交流できたことで、満足感、充実感を味わうことができました。



### 新入生説明会

1月23日(金)  
豊浜中学校にて

1月23日(金)豊浜中学校で新入生説明会を行いました。

6年生は、豊小学校から豊浜中学校までバスで移動し、図書室で最初に豊浜駐在所の警察官の方から、SNSやスマートフォン等を使うときの注意点などについてのお話を聞いた後、中学校生活についての説明を受けました。



会の終了後には、体操服等の採寸を行いました。採寸終了後、ソフトテニス部の部活動体験があり、7年生や8年生に教えてもらいながら、一緒に体を動かしました。



6年生のみなさん、約1ヶ月後には中学生です。しっかり心の準備をしておきましょう!

### 乗り入れ授業

中学校の教職員が、小学生に対して授業を行う乗り入れ授業。今年度も、5・6年生を対象に行いました。



5・6年生が授業を受けた感想の中には「国語では、色々なくずし字が今とは違い難しかったけどおもしろかったです。」「社会では、資本主義と社会主義についてピンポン玉ゲームで教えていただき分かりやすかったです。」「数学では算数ピラミッドで難しかったけど解けるとうれしかったです。」「理科では、顕微鏡で虫を見て楽しかったです。」「体育では野球で打ち方や投げ方を教えてくださったので、ヒットが打てました。」などがありました。



小学生が中学校の様子を知ることができ、中学校の教職員は小学生の様子を知ることができるとよい機会となりました。

### 1分間スピーチ

広島県公立高等学校の入試に「自己表現」が取り入れられています。



「自己表現」は、「広島県の15歳の生徒に身に付けさせたい力」である「自己を認識する力」「自分の人生を選択する力」「表現する力」を身に付けているかが評価されるものです。5分の持ち時間でそれぞれが、思い思いの方法で自分を表現し、検査官の質問に答えるというものです。

小学生の頃から、それらを意識し、「1分間スピーチ」等の日常的な取組やあらゆる機会をとらえて自分自身の思いを自分の言葉で伝える練習をしています。これらの取組を続けていき、公立高等学校の入試の際に自己を表現する力が身に付いていることを目指しています。